DRUG INFORMATION 2023 No.3



薬剤部 2023年4月20日 発行

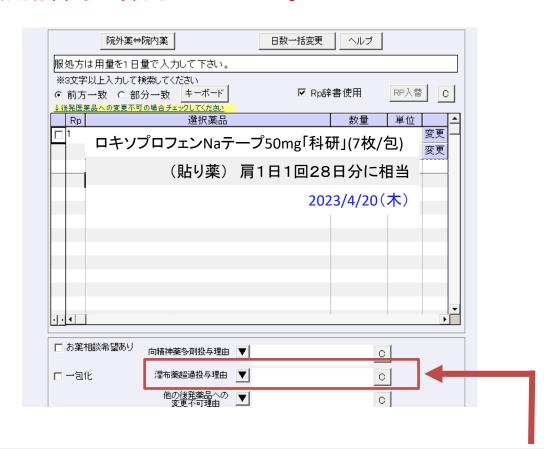
- ・湿布薬は1処方あたり合計「63枚」まで
- ジクトルテープは適応により処方制限が異なります

2022年の診療報酬改定により、医薬品の適正給付の観点から、湿布薬は1処方につき計63枚を超えて投与することは原則としてできません。



<u>運用・処方箋記載時の注意点</u>

- ★湿布薬処方上限枚数は湿布薬の種類ごとではなく、 **処方された湿布薬全体の合計枚数**ですのでご注意ください。
- ★1処方につき63枚を超えて湿布薬を処方した場合、処方箋 料や調剤料等は算定できません。



★疾患の特性等により必要性があると判断して やむを得ず1処方につき63枚を超える場合は その理由を湿布薬超過投与理由に記載してください。

ジクトルテープと湿布薬処方枚数制限

従来、ジクトルテープの効能は「各種がんにおける鎮痛」のみであり、湿布薬処方枚数制限の対象外でした。2022年6月に適応追加となった効能・効果「腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎」では、湿布薬処方枚数制限の対象となりました。

適応症により、処方枚数制限の解釈が異なるため、癌性疼痛に対して、63枚以上処方する場合は、対応が必要となります。

